平成20年6月号（通巻120号）

にぎわい

日本海にぎわい・交流海道ネットワーク通信

【新潟県新潟市】

“太平洋の白鳥”　新潟港に舞い降りる

昨年４月に本州日本海側初の政令指定都市としてスタートした新潟市では、「Ｇ８サミット労働大臣会合」が、５月１１日（日）から１３日（火）の日程で、大河信濃川が日本海に注ぐウォーターフロントにそびえるコンベンション施設「朱鷺メッセ」で開催されました。

また、函館、横浜、神戸、長崎とともに開港五港の１つに指定され明治元年に開港した新潟港は、今年で開港１４０周年を迎えますが、これと「Ｇ８サミット労働大臣会合」の新潟市開催を記念し、５月１０日（土）から１４日（水）の日程で、世界最大級の帆船である「日本丸」を新潟港に招致しました。

歓迎式典では、中越大震災や中越沖地震の被災市町村から児童約１８０名を招待して特別船内見学を実施した他、寄港期間中にはセイルドリルや船内一般公開、夜間ライトアップ等のイベントが行われました。出港時には、地元の園児約１４０名の他に、平日にもかかわらず大勢の見学者が集まる中、実習生がマストに登って整列し「ごきげんよう」と歓呼して挨拶する、感動の儀式「登しょう礼」が実施され、多くの方々から帆船「日本丸」の凛然とした美しさを楽しんでもらうことができました。

帆を広げる日本丸（セイルドリル）

大盛況だった船内一般公開

【富山県射水市】

港エリアで獅子舞大競演会を開催　～射水市～

６月１日（日）射水市の海王丸パークで、獅子舞大競演会が開催されました。当日は、絶好の行楽日和に恵まれ、海老江西町青年団、小島獅子舞保存会、小泉獅子舞保存会、上野青年団、南長徳寺獅子方若連中、堀岡東町青年部の市内６団体と、姉妹都市の千曲市から、矢代一重山太鼓が参加しました。

射水市は獅子舞が非常に盛んな土地で、多くの町内では、祭礼の際に獅子舞を演舞しています。シーズンは４月から５月の春季です。

市内の獅子舞といっても、そのルーツは様々です。二人獅子から７人程度が胴幕に入るムカデ獅子と、その外見も全く違います。また、舞い方もそれぞれの地区で違い、特に新湊地区沿岸部の獅子舞は有名で、港町らしく威勢のいい、そしてテンポの速い舞を披露します。

当日は、伝統ある舞を見比べることができるとあって、県内外から約４万人の観光客が訪れました。

富山新港のにぎわい空間「海王丸パーク」で開催

姉妹都市長野県千曲市から矢代一重山太鼓

迫力ある獅子と天狗の駆け引き

建設中の新湊大橋を背景に華麗な舞を披露

【加賀市地域振興部環境安全課】

加賀市では、「クリーンビーチいしかわ」に呼応し、平成７年度から加賀海岸を中心に清掃活動を実施し、平成 12 年度からはその範囲に柴山潟・河川を加えて拡大し、名称を「クリーンビーチ＆リバー・インかが」と改めました。

さらに旧山中町と合併（平成 17 年 10 月）した平成 18 年度からは更に鶴仙渓（山中温泉）を加え、公共の場を中心として全市的に環境美化活動を展開しています。

毎年 6 月の第 3 日曜日に一斉に実施され、昨年（平成 19 年 6 月 17 日）は参加者約 5000 人で、合計 22 ｔのごみが回収されました。
今年も 6 月 15 日（日）に予定されています。
海岸清掃ボランティアで汗を流してみませんか？
皆様の参加をお待ちしております。

【福井県坂井市】

みなとまち写真コンテストを開催

みなとの振興を通じて地域の活性化を図る制度「みなと振興交付金」を活用して、広く歴史的・文化

的魅力の高い三国湊をPRすることを目的に、江戸初期に現在の市街地の概観が形成され、幕末から明治初期に北前船の寄港地として最盛期を迎え、多くの豪商をうみ、現在も当時の湊町の面影を色濃く残す三国湊を素材とした「みなとまち写真コンテスト」を実施しました。

平成１９年１１月１０日から平成２０年１月１０日の２ヶ月間で作品を募集し、約５０作品の応募があり、１月３０日に審査会を開催し、最優秀賞１点、優秀賞３点、優良賞５点、佳作７点を選考しました。２月１６日には表彰式を開催し、受賞者に表彰状や各賞の賞品を授与しました。

その後、２月１６日から３月１６日まで、三国湊町屋館で作品展を開催し、来場された多くの方に入賞作品を紹介しました。今後は、様々な広告媒体で作品を活用し、全国に三国湊の魅力を発信していきたいと考えています。

【最優秀賞】

【優秀賞】

【優秀賞】

【優秀賞】

編集・問い合わせ先
日本海にぎわい・交流海道ネットワーク事務局
北陸地方整備局　港湾計画課　石井
TEL　025-370-6604　FAX　025-280-8783